

第43回
東北大学
学友会体育部

四賞並びに
学友会会長賞

- ◆選考団体 東北大学学友会体育部常任委員会
- ◆選考期日 令和6年12月16日(月) ◆式典期日 令和7年2月13日(木)
- ◆於 東北大学 川内キャンパス マルチメディア教育研究棟

第五十九回黒川杯

黒川杯は、第十代総長、黒川利雄先生のご発意に基づき昭和四十一年十二月に創設された団体賞。昨年二年間でもっとも活躍し、優秀な成績をおさめた体育部所属運動部に授与される。



アメリカンフットボール部

主な戦績

東北学生
アメリカンフットボールリーグ 優勝
全日本大学
アメリカンフットボール選手権出場
4年生 尾崎鉄平選手 MVP受賞
3年生 福岡泰成選手 MIP受賞

受賞理由

東北学生アメリカンフットボールリーグで13連覇を達成し、全日本大学アメリカンフットボール選手権への出場権を獲得した。この成果は、地域の強豪校と戦い抜いた結果である。また、各地方リーグ大会で優勝した大学が集う全日本大会では、ベスト8に進出し、4年生の尾崎鉄平選手がMVP、3年生の福岡泰成選手がMIPに選ばれるなど、個々の選手も活躍した。これらの結果を踏まえ、黒川杯の受賞が決定した。

第四十三回志村杯

志村杯は、元学友会体育部長、志村憲助先生のご退官にあたって、先生のご発意に基づき、昭和五十七年に創設された団体賞。昨年二年間行事内容の充実した体育部所属運動部に授与される。



人力飛行部

主な実績

2024年 東北大学フォーラム in 大阪にて人力飛行部が現在取り組んでいる活動や、今後の目標などについて講演

主な戦績

第46回鳥人間コンテスト2024
優勝及び彦根市長賞受賞
飛距離：21,803.69m

受賞理由

鳥人間コンテストに優勝し、東北大学フォーラム2024に登壇、東北大学17周年ホームカミングデーに参加し、目覚ましい活躍を見せる学生団体に選ばれ、大学全体の活躍を象徴する団体として紹介され、多くの方々から大学の魅力を発信した。このほか、スリーエム仙台市科学館において、今年の鳥人間コンテストで使用するコックピットにフェアリングを取り付けた機体への搭乗体験を提供した。プロペラ、駆動系統、電装、翼、フェアリング、操舵といった主要パーツを展示し、来場者にそれぞれの役割を解説しながら、飛行機が飛ぶ仕組みや空を飛ぶという夢の実現に必要な工夫を伝えるとともに、モノづくりの魅力を来場者の方々に体感していただいた。これらの結果を踏まえ、志村杯の受賞が決定した。

仙台市科学館における機体搭乗体験や各パーツの役割などの説明するイベントを実施

東北大学17周年ホームカミングデーにおいて人力飛行部の現在の活動内容や今後の目標などについて講演

第五十八回学友会長賞

学友会長賞は昭和四十二年に、黒川杯の個人賞として創設された。四年間の成績が優秀と評価される当該年度卒部者に贈られる。



植木 祐樹

硬式野球部

主な戦績

令和六年度
仙台六大学野球春季リーグ戦
最高打率賞（.441）、
ベストナイン受賞
令和六年度
仙台六大学野球秋季リーグ戦
最高打率賞（.441）、
ベストナイン受賞

受賞理由

プロ野球選手も数多く輩出する強豪の仙台大学、東北福祉大学の並みいる選手を抑え、チーム史上初、仙台六大学リーグ全体でも19年ぶりとなる春リーグ、秋リーグ連続最高打率賞（春季秋季ともに.441）を受賞しただけでなく、ベストナインも同時受賞するという快挙を達成した。これは彼の4年間の真摯な取り組みの積み重ねが身を結んだ結果である。また、彼は得意とする打撃について他の選手にも指導を行い、部全体の技術向上に貢献した。以上の理由から、学友会長賞に選考した。

第四十六回鈴木賞受賞者

鈴木賞は元学友会応援団長鈴木雅洲部長のご発意に基づき昭和五十三年に創設された個人賞。成績優秀な二年生に贈られ、これからも活躍してほしいという期待がこめられている。



安田 百福

少林寺拳法部

主な戦績

第58回 少林寺拳法全日本学生大会
単独茶帯の部
予選茶帯 第2位
本選 第2位
第56回 少林寺拳法東北学生大会
単独茶帯の部 第2位
なし

受賞理由

安田選手は大学に入ってから少林寺拳法を始めたにも関わらず、6月の東北大会では東北3位、12月の東北新人大会では2部門で東北1位（2冠）と好成績を取っている。特筆すべきは11月の全日本学生大会で、全国2位という快挙を成し遂げた。彼は熱心な努力家で、第63回七大会では、大学始めの同期7人の中からただ一人だけ団体演武のメンバーに抜擢されて出場し、少林寺拳法競技の団体演武2位（同点1位）、総合順位2位に大きく貢献した。普段の練習では、その技術を余すことなく後輩指導に充てており、部内の技術向上にも大きく貢献している。今後の活躍が大きく期待できる人物として相応しく、今後の活躍を期待し、鈴木賞の受賞が決定した。

第三十七回大谷賞

受賞部



女子バスケットボール部



女子ラクロス部



フェンシング部



水球部



男子軟式庭球部



女子軟式庭球部

大谷賞は第二十七回国立七大学総合体育大会の贈号優勝を記念して、元総長大谷茂盛先生のご発意に基づき昭和六十二年に創設された。国立七大学総合体育大会において、優勝した部に贈られる。